

## 事務局職員の採用計画(案)

### 1. 現状

□事務局は、現在、正職員19人（内鳥取市派遣職員6人）、嘱託職員6人、臨時職員3人の体制で業務を執行している。

※平成13年度には鳥取市からの派遣職員も含め、正職員31人の体制であった。

□行財政改革に向けた取り組みとして、施設関係において、平成18年度に因幡霊場ほかをそれまでの直営から指定管理へ、また平成20年度に因幡浄苑ほかを長期包括管理委託へ移行し、人員削減に努めているところである。

□また、定年退職者の不補充等による人員削減も進めており、現在では広域職員は17人となっている。（平成14年度以降、採用を行っていない）

□議会・出納・監査・建築・検査契約事務等については、鳥取市職員が広域併任職員として市役所内で業務を行っている。

□鳥取市からの派遣職員は近年3人程度であったが、現在では可燃物処理施設建設推進のため6人となっている。

□人事交流の一環で鳥取市へ派遣している広域職員は、近年3～6人程度で現在は4人となっている。

### 2. 課題

□今後、広域職員は定年退職により平成28年度には16人、平成29年度から32年度には15人、平成33年度には13人、平成34年度には12人となる見込みであり、適切に退職者補充を行う必要がある。

□業務上の課題としては、新可燃物処理施設の管理業務も本組合の事務として想定されること、また廃棄物の中間処理施設と最終処分場も継続して適切に管理を行う必要があること、さらには時代の要請に的確に対応するため総務部門の充実を図る必要があること、などが挙げられる。

□新可燃物処理施設建設完了後、鳥取市からの派遣職員は大幅減になると見込まれる。

□広域が担っている業務を今後も円滑に行っていくためには、計画的な職員採用が必要である。

### 3. 広域職員の採用計画

□中長期的にみて、現時点で想定する業務上必要人数は21人であり、平成28年度以降、計画的に必要な職員を採用する。【別紙参照】

□この計画は現時点でのものであり、諸事情の変化により、適宜見直すものである。

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
年度当初 広域職員数	17人	17人	18人	20人	21人						
当該年度 定年退職者	△1人	△1人	0人	0人	0人	△2人	△1人	0人	0人	0人	0人
翌年度 新規採用者	1人	2人	2人	1人	0人	2人	1人	0人	0人	0人	0人
中長期的にみた 広域職員必要数	19人	19人	20人	21人							